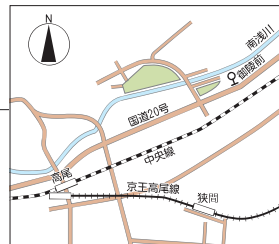


陵南公園

指定管理者 ■ 多摩部の公園パートナーズ

- 所在地 八王子市
- 問合せ ☎042-661-0042(8:30~17:30) 陵南公園サービスセンター(〒193-0824 八王子市長房町1369)
- 交通 JR中央線・京王高尾線「高尾」下車 徒歩20分
駐車場(39台・無料・8:30~17:00) ※混雑時には一般利用されることがあります。



加住丘陵と多摩丘陵に囲まれた八王子市の南浅川のほとりにある公園です。1964年の東京オリンピックのときに自転車競技場として使用されていましたが、その後公園となりました。南浅川に面し、背後に多摩御陵の参道を控え、西方に高尾、陣場の山並みを望む、明るく開放的な公園です。

野球場と広場からなる本園と南浅川を渡る橋のたもとに分園に分かれています。

ジャブジャブ池

さくら広場に隣接してじゃぶじゃぶ池があり春のゴールデンウィーク期間と夏休み期間は流れが開放され、水遊びを楽しむことができます。



じゃぶじゃぶ池

展望広場

野球場北側にある展望広場では園内で一番高いところがあり、あずまやからは高尾の山並みを望むことができます。

さくら通り・さくら広場

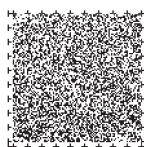
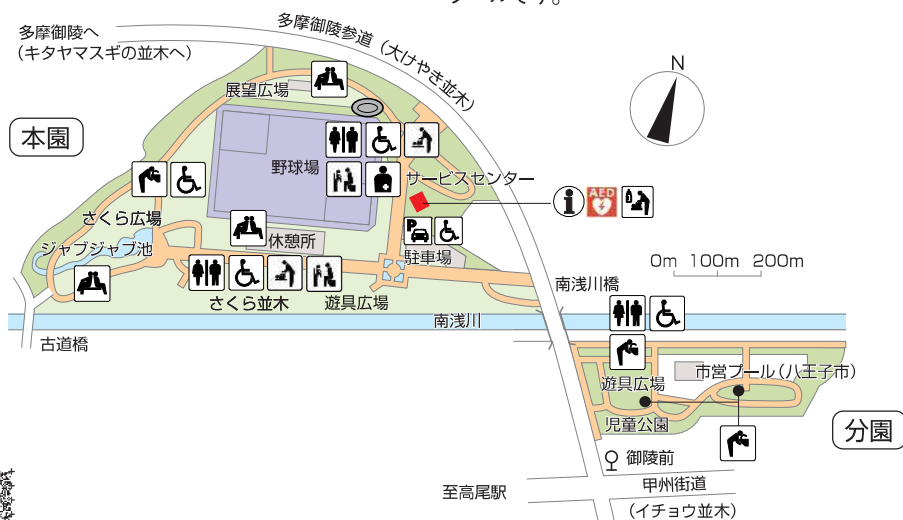
南浅川に沿って整備された石畳のさくら通り、そのつきあたりのさくら広場にはソメイヨシノをはじめオオシマザクラ、ヤマザクラなど多種類のサクラが植えられており、桜花期の3月下旬から4月下旬にかけ花見を楽しむことができます。



さくら通り

分園

南浅川橋たもとにある児童公園です。ケヤキの大木に囲まれた広場は、R6年度にユニバーサルデザイン遊具にリニューアルしました。障がいの有無を問わず、子どもたちが楽しく遊ぶことができます。そのすぐ隣りは八王子市営の有料プールです。



開園年月日／昭和43年4月1日 開園面積／59,533.66㎡(一部は国有地の無償貸付を受けています)
主な植物／イチョウ・サクラ(ソメイヨシノ)・サワラ・シラカシ・ヒマヤスギ・ケヤキ・キンモクセイ
施設／野球場2面(軟式専用)、プール(八王子市営☎042-664-5808)

70



林試の森公園

指定管理者 ■公益財団法人 東京都公園協会

- 所在地 目黒区、品川区
- 問合せ先 ☎03-3792-3800(8:30~17:30) 林試の森公園サービスセンター(〒142-0061 品川区小山台2-6-11)
- 交通 東急目黒線「武蔵小山」下車 徒歩10分
JR山手線「渋谷」から東急バス「林試の森入口」下車 徒歩1分

ここは、明治33年(1900年)6月に農商務省林野整理局の「目黒試験苗圃」としてスタートしたのが始まりで、その後「林業試験場」に名称を変更、林野庁の付属となり昭和53年まで使用されていました。



林業研究発祥の地記念碑

そして、筑波研究学園都市の建設に伴い、移転した跡地を整備し、「目黒公園」の暫定開放期間を経て、平成元年6月1日に「都立林試の森公園」として開園しました。

巨樹・外国産樹木・野草

この公園の大部分の樹木は、旧林業試験場時代より育まれたものです。ケヤキ、クスノキ、ポプラ、スズカケなど大木が見られます。また、カイ



大きなクスノキ

ノキ、ベニカエデ、ヒマラヤゴヨウといった外国産樹があります。

また、林床にも珍しい植物が育成しています。ツルニチニチソウ、ミズヒキなどの群落をはじめ、ハウチャクソウ、ジュウニヒトエといった植物もみられます。

倒木自然観察樹木

平成23年(2011年)9月に台風15号の被害を受けて倒木したユーカリの木が、どのように自然に戻っていくのかを観察できるように、倒木したままの状態で管理しています。

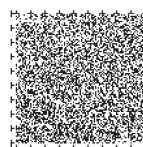
このユーカリの木は、樹高34m、幹回り329cmに達する巨樹でした。



ラ行70
林試の森



開園年月日／平成元年6月1日 開園面積／123,396.87㎡(一部は国有地の無償貸付を受けています)
主な植物／アカガシクスノキ・ケヤキ・スズカケノキ類・ミズキ・ムクノキ・ラクウショウ・ハウチャクソウ 施設／デイキャンプ広場、ジャブジャブ池、冒険広場、幼児コーナー



ろ か こう し ゅ ん え ん 蘆花恒春園

指定管理者 ■ 公益財団法人 東京都公園協会

●所在地 世田谷区

●問合せ ☎03-3302-5016(8:30~17:30) 蘆花恒春園サービスセンター(〒157-0063 世田谷区粕谷1-20-1)

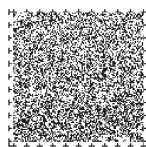
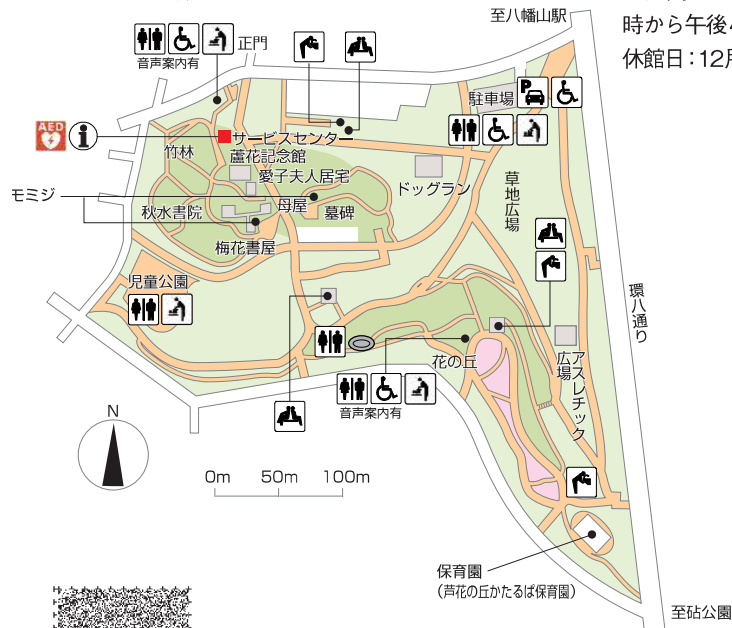
●交通 京王線「芦花公園」・「八幡山」下車 徒歩15分、
京王線「千歳烏山」から京王バス「芦花恒春園」下車 徒歩7分
駐車場(42台・有料・24時間)



「不如帰」「自然と人生」「みづのたはこと」等の名作で知られる明治・大正期の文豪 徳富蘆花（健次郎）と愛子夫人が、恒春園と名づけて後半生を過ごした茅葺きの住居と庭、蘆花夫妻の墓所を中心とした旧邸地部分とその周辺を拡張してつくられました。

愛子夫人は、昭和11年の蘆花没後10周年忌に際し、この恒春園を東京市に寄付し、市ではこれを整備して、昭和13年、夫人の意向に沿って武蔵野の風景を保存し、蘆花の名を冠した公園として公開を開始しました。昭和43年には新たに用地取得した南側区域に児童遊戯場を整備して追加開園、その後も昭和、平成を通じて拡張、整備され、平成21年に完成しました。

蘆花記念館や愛子夫人居宅などがある恒春園区域（開園：午前9時から午後4時30分）と花の丘や児童公園のある開放公園区域があります。



徳富蘆花旧宅母屋

老朽化した建物は昭和58～60年度にかけて改修され、「徳富蘆花旧宅」として、昭和61年3月10日東京都史跡に指定されました。



徳富蘆花旧宅母屋

蘆花記念館

屋敷とともに寄贈された身辺具、作品、原稿、手紙、農具などの遺品を納めるために昭和34年に建設。遺品の一部を展示し、一般に公開しています。(午前9時から午後4時。無料)
休館日：12月29日～1月3日



蘆花記念館



花の丘

開園年月日／昭和13年2月27日 開園面積／80,304.43㎡

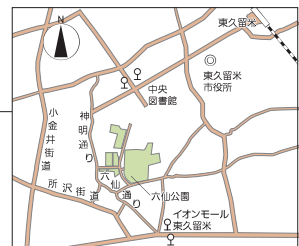
主な植物／ウメ・サクラ(高遠小彼岸)・モウソウチク・クヌギ・イロハモミジ・カタルパ・サルスベリ・トウカエデ・ウバユリ・アナベル
施設／集会場(梅花書屋、愛子夫人居宅)

72

ろくせんこうえん 六仙公園

指定管理者 ■ 武蔵野の公園パートナーズ

- 所在地 東久留米市
- 問合せ ☎042-475-1031 (8:30~17:30) 六仙公園サービスセンター(〒203-0054 東久留米市中央町三丁目23-6)
- 交通 西武新宿線「田無」から西武バス「イオンモール東久留米」下車 徒歩10分
西武池袋線「東久留米」から西武バス「中央図書館」下車 徒歩15分
駐車場(20台・有料・24時間)



六仙公園は、平成18年4月に開園した新しい公園です。入口広場、草地、花壇、流れなどが整備されています。

この公園は東久留米市の中央に位置し、北多摩地域における緑の拠点として平成7年に新たに計画された公園です。

公園の周辺には良好な農地が多く残り、市街地の中の貴重なオープンスペースとなっています。このオープンスペースを今後とも公園として保全し、武蔵野の原風景を回復するとともに災害時等の避難広場等として活用するための公園づくりを長期的な視点から行っています。



水盤

水盤の水は地下水を利用し、再び地下に還元しています。

公園内の雨水は、すべて浸透枳、浸透井により地下に戻し、近接する南沢湧水の涵養に役立っています。



水盤



花壇



かたらい広場

ラ行
72
六仙

開園年月日／平成18年4月1日 開園面積／76,241.69㎡
主な植物／ソメイヨシノ・ヤマザクラ・クヌギ・コナラ・フジ
施設／水景施設、バーゴラ、ベンチ

